

高知大学地域協働学部

平成27年4月設置予定

地域協働学部の設置

～「地域の大学」としての覚悟～

【設置の趣旨】

- ・ 少子高齢化、産業の脆弱化、中山間地域の疲弊に起因する高知県の地域課題を解決する担い手を育成する。
- ・ 入学定員は60名、専任教員は20名。
- ・ 学生は1年次から4年次まで、県内各地を「キャンパス」として授業を実施。
- ・ 地域における課題解決の現場を直接体験させるため、多彩な実習科目を配置し、地域への愛着や誇りを育てる教育を実践。地域コミュニティの再生、商店街の活性化、地場産品を生かした商品開発など学生自らが企画を練り上げ、地域住民と協働しながら、組織・人を動かす力を身につける。
- ・ 「キャンパスは地域、テキストは人」という理念の下、多くの学生が地域に入り、地域と一緒に考え、行動していく。国立大学では全国初の学部となる。
- ・ 高知大学は、地方の国立大学として日本の高等教育の新しいモデルを構築し、そのフロントランナーとなる。

※平成27年4月設置予定。(文部科学省に5月末設置申請)

※設置が認可されれば、昭和52年に文理学部が改組して以来、38年ぶりの新学部(6番目)の誕生となる。

【学問領域】

・「地域協働学」とは

教育学、経済学、経営学、社会学、農学、環境、美術、スポーツ等の各学問分野を、「地域協働」という視点で横断的に統合・再編した実践的な学問。

・ 英語学部名は、**Faculty of Regional Collaboration** 学位は**学士(地域協働学)**

【養成する人材像と進路先】「地域協働型産業人材」

- ① **6次産業化人**: 6次産業による新ビジネスを自ら起業して活躍する。
→ **起業家、農林商工業の後継者**など
- ② **産業の地域協働リーダー**: 異業種間等の協働を通じて新規事業を創出する。
→ **地域産業振興を担う企業、銀行、JA**など
- ③ **行政の地域協働リーダー**: 産官及び官民などの協働をコーディネートして行政施策を推進する。
→ **公務員、大学職員**など
- ④ **生活・文化の地域協働リーダー**: 非営利組織において、当該領域で見い出される課題を企業と協働して新規事業の創出に繋げる。
→ **マスコミ、公益法人、NPO**など

教育カリキュラム 先駆的な特色

地域産業振興を担う「地域協働型産業人材」を育成
学生教育を通じた地域の課題解決の先駆的モデル

入学定員

60名 少数精鋭

高知大学

地域協働学部
地域協働学科

特色ある入試

多彩な実習授業を配置

学年末関所(進級評価)

地域での学習成果報告会

社会人の学び直し

ガバナンス改革

地域課題の解決
地域が求める新しい
産業人材を育成



地方国立大学の
フロントランナー

教員組織の編成

地域協働教育を担う精鋭教員を学内・学外から結集

専任教員

地域協働学部
地域協働学科

多彩な専門性を有する教員 20名

経済学・経営学分野 教授4名、准教授2名、講師3名

マクロ経済学
財政学
地域産業政策

社会学分野 教授1名、准教授1名

地域福祉
ソーシャルキャピタル

教育学分野 教授1名

生涯学習

農学分野 教授2名、准教授1名

食品分析学
地域研究
農村ツーリズム

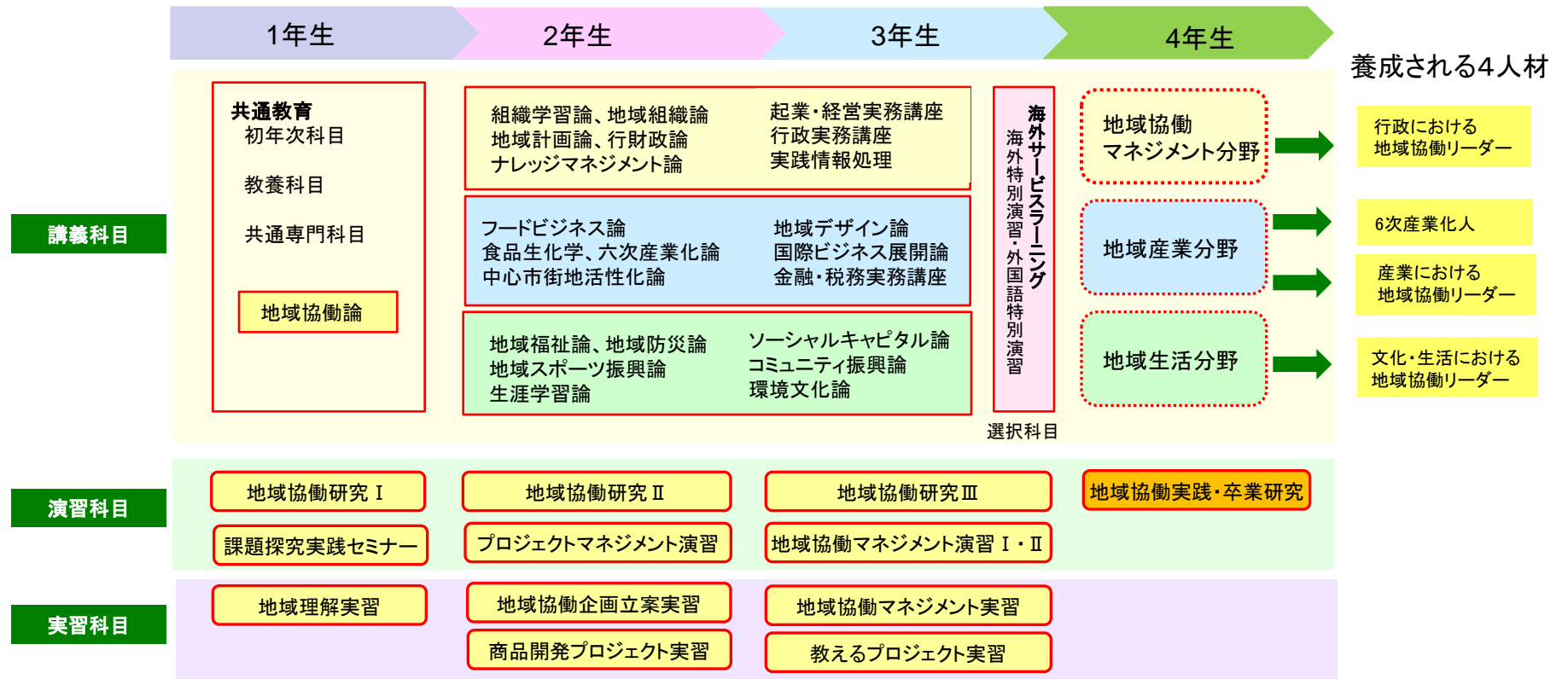
環境分野 准教授2名

地域計画
地域防災

美術・スポーツ分野 教授1名、准教授2名

デザイン
スポーツ政策
地域スポーツ社会学

◆ カリキュラムマップ

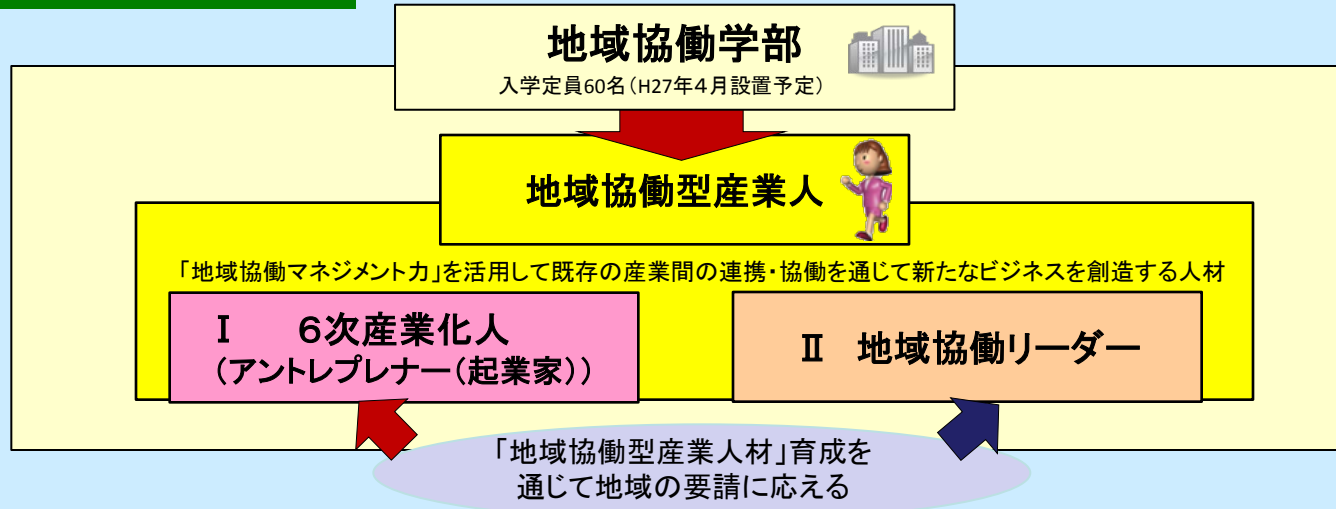


◆ 卒業後の具体的な進路

6次産業化人 新ビジネスを自ら起業して活躍 (ベンチャー企業、農林商工業の後継者等)	産業における地域協働リーダー 異業種間の協働を通じた新ビジネスを推進する企業等で活躍 (食品加工業、流通・卸売業、金融機関、JA、商工会議所等)	行政における地域協働リーダー 産官民をコーディネートして施策を推進する行政組織で活躍 (地方公務員、官公庁外郭団体、大学職員等)	生活・文化における地域協働リーダー コミュニティ振興や地域文化を推進する組織で活躍 (マスコミ、NPO、社会福祉協議会、文化・スポーツ団体等)
---	---	---	--

◆ 地域協働に対する社会的要請
 国の「教育再生実行会議」は、今後の大学教育の在り方について学内だけに閉じた教育活動ではなくて、キャリア教育、中長期のインターンシップ、農山漁村も含めた地域におけるフィールドワーク等の体験授業を通じた社会との接続を意識した教育を強化することを求めている。つまり、地域協働を基盤とした実践的な教育プログラムによる地域人材の育成を重視すべきであるとしている。

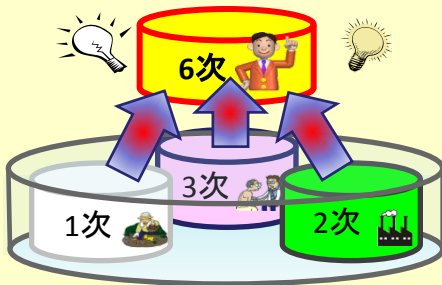
地域協働学部による人材育成イメージ



新たに輩出を目指す人材像

I 6次産業化人 (アントレプレナー(起業家))

① 6次産業による新ビジネスを自ら起業して活躍する人材



II 地域協働リーダー

② 産業の地域協働リーダー

各産業において、異業種間等の協働を通じた新ビジネスの創造等を行う地域協働リーダーとして活躍する人材



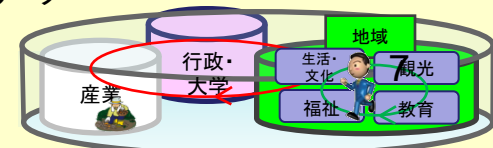
③ 行政の地域協働リーダー

産官及び官民の協働をコーディネートして行政施策を推進する行政職員等(地域協働リーダー)として活躍する人材



④ 生活・文化の地域協働リーダー

NPO法人、社会福祉協議会等の非営利組織において、多様かつ複合的な視点を有し、生活・文化領域で地域協働リーダーとして活躍する人材



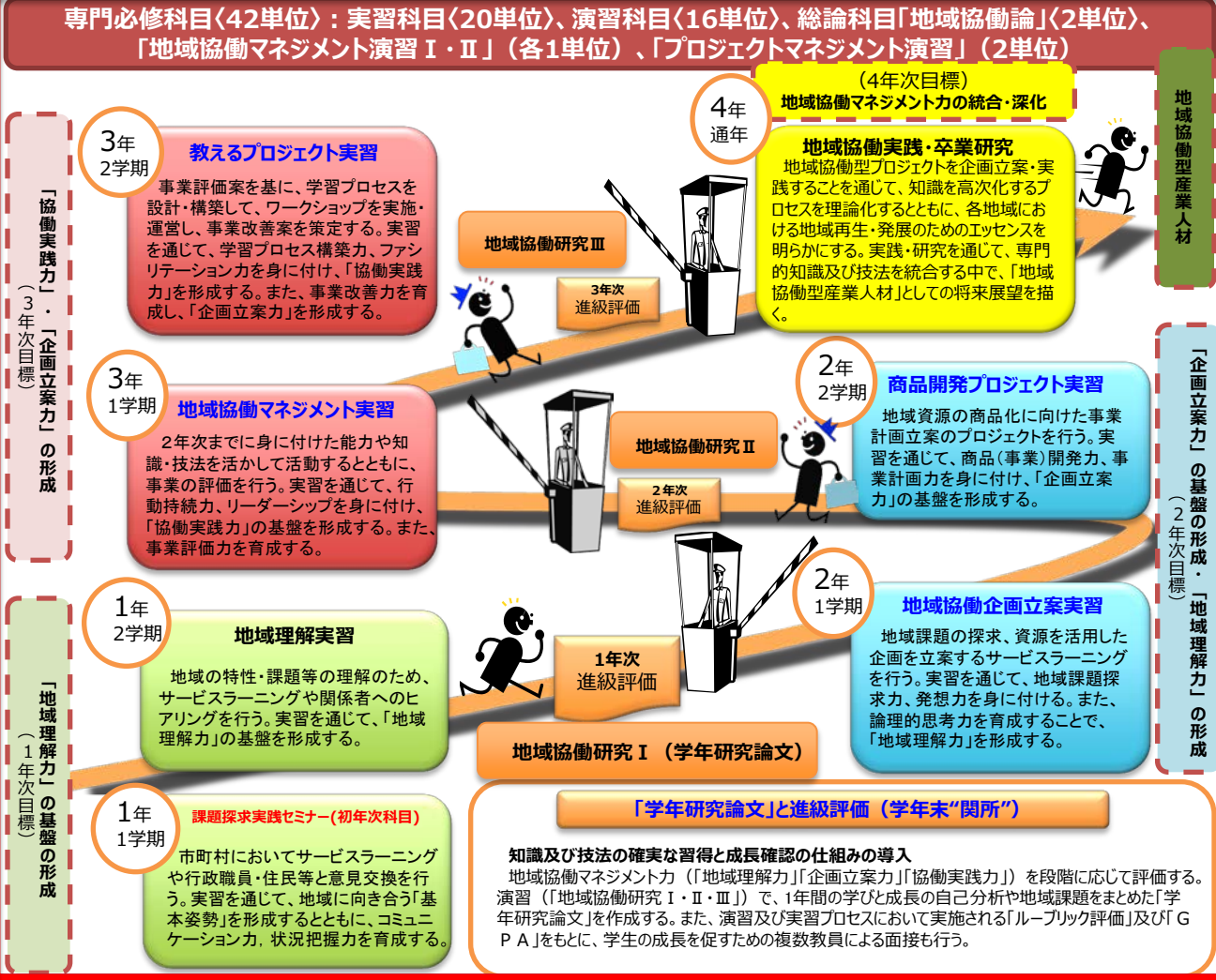
専門選択科目(30単位): 将来の進路に対応する履修指導モデルに従い3つの分野から30単位以上を選択して修得する。

地域協働マネジメント分野(12科目)

- ★組織学習論 ★地域組織論 ★地域計画論 ★地域資源管理論 ★ナレッジ・マネジメント論 ★実践情報処理 ★行財政論
- ★起業経営・実務講座 ★行政実務講座 ★非営利組織マネジメント論 ★海外特別演習 ★外国語特別演習

地域産業分野
(13科目)

- ★フードビジネス論
- ★農業振興論
- ★金融・税務実務講座
- ★国際ビジネス展開論
- ★地域産業政策論
- ★食品生化学
- ★地域産業連関論
- ★地域デザイン論
- ★中心市街地活性化論
- ★産業論
- ★六次産業化論
- ★森林経営学
- ★国際農林水産物市場論



地域生活分野
(11科目)

- ★地域福祉論
- ★地域防災論
- ★環境文化論
- ★生涯学習論
- ★地域スポーツ振興論
- ★ソーシャルキャピタル論
- ★ダンス
- ★コミュニティ振興論
- ★家庭経営学
- ★非営利組織論
- ★地域スポーツ社会学

教養科目(22単位)「地域関連科目」を14単位以上を修得する。

初年次科目(12単位)

共通専門科目(18単位) ※10単位以上を以下の科目から修得する。

- ★社会調査論
- ★社会調査実習
- ★企画立案事業計画基礎演習
- ★社会調査方法論
- ★ファシリテーション演習
- ★非営利組織経営基礎演習
- ★統計解析の基礎
- ★チームワークを考える
- ★質的調査法
- ★商品開発基礎演習
- ★多変量解析

主な実習予定先



高知市

土佐山中川地区活性化支援
 日曜市での授業フィールドワーク・学生団体活動
 高知市コミュニティの実態調査、てんこすでの商品開発
 授業フィールド開発(帯屋町筋、菜園場商店街、県立坂本龍馬記念館、龍馬の生まれたまち記念館、こどもの図書館、県立文学館、高知市子ども劇場、県立交通安全子どもセンター)
 SBインターンシップ

大豊町

怒田・岩原地区での授業(中山間地域の生活と環境、地域協働実習、社会協働実践)
 ゆとりすとパーク、クルベジプロジェクト
 「虹野菜ファーム」、元気になれる限界集落事業

いの町

是友「出会いの場」プロジェクト
 いの町観光協会との連携

仁淀川町

仁淀デザインの学校プロジェクト
 長者活性化プロジェクト
 集落活動センター「だんだんの里」

佐川町

地域づくりファシリテーター
 一養成事業

香南市

西川地区「集落活動センター」支援

四万十市

西土佐集落
 過疎地域の大規模災害を想定した防災体制の整備に関する研究

四万十町

海洋堂ホビー館四万十との連携事業
 学生団体「国際茶屋」による七里地区での留学生交流事業

大月町

NPO黒潮実感センター

黒潮町

NPO法人砂浜美術館
 蜷川地区「みながワイワイ隊」



各界からの反響

「新学部アンケート調査2013」から

【高校教師の代表的コメント】

・ものすごく時間と労力のかかることをしようとしていることに敬意を表します。文系学部であれば、教室に学生を集め、一斉講義で知識を伝達することが簡単であると思いますが、敢えて新学部を立ち上げて、一見非効率に見えることを始めようとしている所に高知大学の心意気を感じます。(香川: 県立)

・土地柄、地域活性化プロジェクト等をテーマに研究を進めたいと思っている生徒にはとても惹かれる学部だと思います。地元に戻ってきて、地元を支えようとする生徒には絶好の学習場所ではないかと思います。(兵庫: 県立)

・「協働」というイメージに共感するものがありました。これから生徒が身に付けていくべき能力には、価値観の違う人々と力を合わせて目標を達成していく能力が含まれると考えます。(宮崎: 県立)

【企業等の代表的コメント】

・多種多様なニーズを求められる社会への対応能力を養うことができる。サークルなどで取り組んでいる大学も多くあるが活動に限界があるため、素晴らしい取り組み。(愛媛県: サービス業)

・コミュニケーション力、問題発見、解決能力が低下しているといわれる中、新しい試みである。(東京都: その他製造業)

・地域の課題や、立場による利害などを調整し、解決していく能力は社会人としても必要。昨今多い就職を意識した学部とは違い、地頭力が養われる点も好感が持てる。(東京都: 建設業)

学生は長期的かつ徹底的に地域と向き合います



コミュニケーション力の向上



日曜市を盛り上げる



大野見地区で茶摘みを体験



高知ケーブルテレビ局とコラボ



地域活性化策を学生自らが立てる



「地域の大学」としての機能強化

背景

～ 「COC 高知大学」として地域の再生・活性化を担う ～

高知県は我が国の社会問題を15年先取りした課題先進県

- ・少子高齢化、若者の県外流出
- ・南海トラフ巨大地震対策（緊急課題）
- ・産業基盤の脆弱化（ものづくり・地産外商の振興）
- ・高等教育に対するニーズ
- ・中山間地域の暮らしの維持
- ・移住定住促進の強化

実行計画の策定

「高知大学教育組織改革実行プラン」（H25.6.18 役員会決定）

「高知大学インサイドコミュニティシステム化事業」（平成25年度地（知）の拠点整備事業）

地域の課題解決

改革方針

- ① 全学的な教育組織の再編 ② 地域協働学部の設置 ③ 地域への責任ある参画 ④ 大学ガバナンスの強化

人文・教育・理・農の4学部が地域を志向した学部へ一斉改組するとともに、
地（知）の拠点機能を強化する「**地域協働学部**」（仮称）を新設する

→ 地域再生の核となる人材を社会に輩出することで、今後の地方国立大学のモデル事例となる

教育組織移行図(案)

＜平成26年度予算＞

「高知大学教育組織改革実行プランの推進 -チャレンジする高知大学-」
特別経費（プロジェクト分） 16,840千円



新学部ができるのは38年振り

高知県をはじめとする地域の課題
に真摯に応え、期待感にあふれる
学部にしたいと思います

※ 設置認可申請中のため、内容は予定であり、変更する場合があります。